

【自治体SDGsモデル事業】

1000年をつなぐ 田辺市熊野SDGsプロジェクト



和歌山県田辺市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■ 全体計画

未来へつながるまち「田辺市」を目指して ～1000年をつなぐ熊野の保全と継承～

《 2030年のあるべき姿 》

「熊野古道」は、世界中から人々が訪れる巡礼の道として、今なお歩き継がれている道であると同時に、人々が木々を育て、土を耕し、生活を営むために歩いてきた道でもある。その両者によって1000年にもわたり、保ち続けられてきた道こそが「熊野古道」である。この地に暮らす私たちには、1000年先も熊野を継承していく責任があり、それが、SDGsで目指す未来の中で、田辺市が果たすべき使命である。

地域の産業を守る

①「熊野古道」プラスαの 着地型観光リファイン

- ・「巡礼の道の風景」復活プロジェクト
- ・紀伊半島の自然資源を活かした新たなツアー造成
- ・熊野古道とつなげた街なかの賑わいづくり
- ・紀伊半島広域観光プランの強化
- ・二次交通の充実
- ・ワーケーション・IT企業誘致環境の整備

②第一次産業の活性化と 就業者の安定的確保

- ・第一次産業の担い手育成事業
- ・林地台帳整備
- ・森林経営管理制度
- ・スマート林業の推進
- ・世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」の保全
- ・スマート農業の推進
- ・養殖漁業の推進

地域の暮らしを守る

③ローカルイノベーター育成と 関係人口の創出

- ・地域課題解決型ビジネスモデル創出を目指す人材育成事業「たなべ未来創造塾」・「たなべプチ起業塾」
- ・地域にコミットする関係人口創出プログラム「熊野REBORN PROJECT」「こところぼ」
- ・和歌山大学寄付講義「ロカリアル～地域の課題と多様な関わりを考える～」

④ともに支え合う 地域コミュニティの機能向上

- ・田辺らしい地域コミュニティ再構築事業
- ・市民活動センター機能強化事業
- ・次代を担う人材発掘・育成事業
- ・学社融合推進事業
- ・地域福祉あんしんネットワーク活動推進事業

森(自然)を守る

⑤世界遺産や自然資源の 保全と継承

- ・世界文化遺産や国立自然公園などの保全
- ・里山の文化的景観の保全
- ・田辺湾クリーン作戦

⑥次世代を担う子供たちに 対する環境教育の推進

- ・森林環境教育プログラム開発事業
- ・子供たちが熊野の歴史を語り継ぐ「田辺市地域語り部ジュニア活動」事業
- ・ふるさと自然公園センターリニューアル整備事業

⑦脱炭素社会への貢献

- ・森林の多面的機能の維持・向上
- ・海洋環境の保全
- ・電気自動車の導入

自治体SDGsモデル事業の概要:

1000年をつなぐ田辺市熊野SDGsプロジェクト

- 魅りの地「熊野」の再生と自然資源を生かした新たなツアーの造成などによる熊野古道プラスαの観光振興
- 地域にコミットするローカルイノベーターの育成と関係人口の創出、地域コミュニティの再構築に資する人材育成
- ふるさと納税を活用した熊野の森を守り・育てる仕組みとその担い手づくり

経済



課題：「熊野古道」プラスαによる観光産業の活性化
熊野の森を守る林業の担い手確保

- 地域の観光産業の回復
魅りの地「熊野」再生事業
- 地域自然資源を活かしたツアーの造成
地質及び地形とそれらに由来する自然資源を生かしたツアーの造成
- 「低山トラベル」をテーマとした新たな客層の開拓
低山トラベル推進事業
- 森を育て、森を守る担い手づくり
森林経営管理制度による森林整備を通じた林業従事者の確保



社会

課題：地域コミュニティの再生
次世代を担う人材の育成

- 地域にコミットするローカルイノベーターと関係人口づくり
 - ・地域課題の解決を通じたビジネスモデルの創出と人材育成
 - ・地域にコミットする関係人口の創出と総合プラットフォームの構築
- 地縁型組織・テーマ型組織の担い手・支え手の育成
住み続けるまちを担う新人材育成事業

課題：世界文化遺産の保全と継承
環境教育の強化・脱炭素社会への貢献

- 社会が一体となった世界文化遺産の保全
 - ・熊野古道の森保全事業(くまもり事業)
 - ・ふるさと納税を通じたくまもり基金への寄付促進
- 地域企業と連携した持続可能な社会の創り手づくり
未来の熊野を守る子供たちへの森林環境教育の推進



環境

熊野の未来を拓く、ひとづくりプロジェクト

■全体計画

未来へつながるまち「田辺市」を目指して～1000年をつなぐ熊野の保全と継承～

■自治体SDGsモデル事業

1000年をつなぐ田辺市熊野SDGsプロジェクト

■三側面をつなぐ統合的取組

熊野の未来を拓く、ひとづくりプロジェクト

森林整備や森林環境教育を通じて次世代を担う人材を育成するとともに、地域課題の解決や地域資源の活用をビジネス手法で考えるローカルイノベーターを育成し、さらに、都市部の人材との交流を通じて関係人口を創出することにより、熊野地域の未来を拓く「ひとづくり」を推進する。

①森を育て、森を守る担い手づくり【経済】

②地域企業と連携した持続可能な社会の創り手づくり【環境】

③地域にコミットするローカルイノベーターと関係人口づくり【社会】

i CSV(共通価値の創造)とかっこいい大人づくり

ii 持続可能な「熊野」の形成に向けた地域課題解決型関係人口創出プログラム

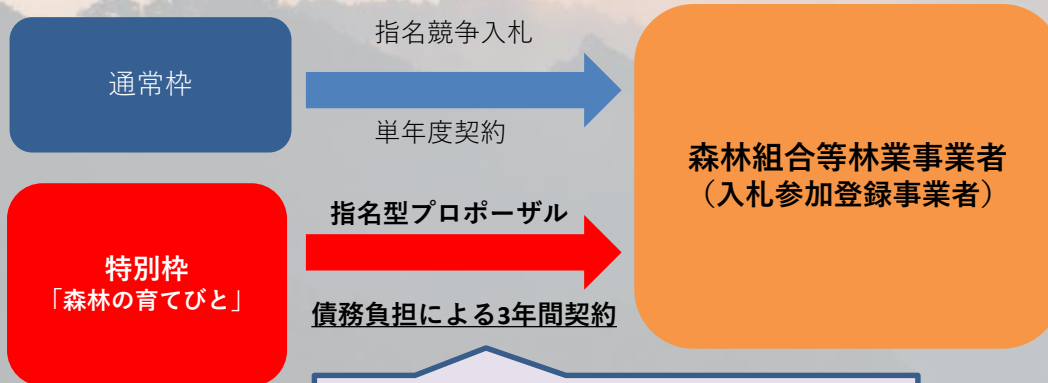
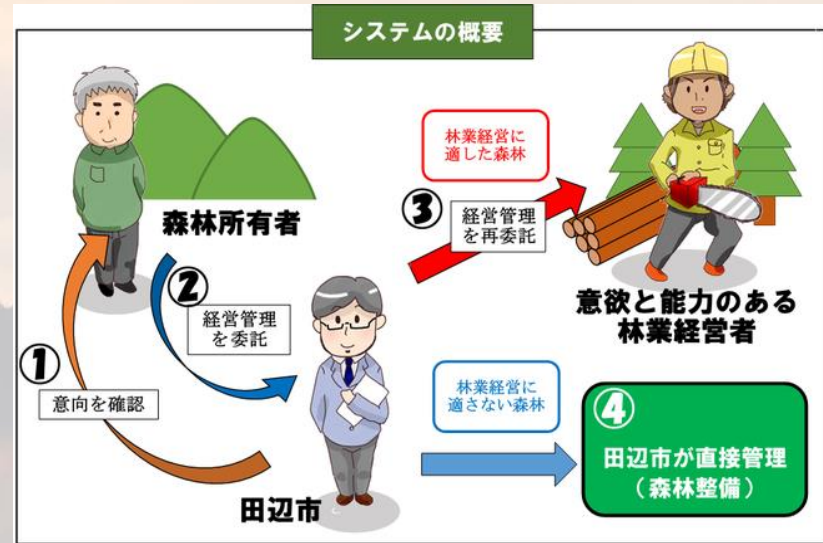
iii 地元企業と国内大手企業社員によるラーニングワーケーション

iv 地域にコミットするローカルイノベーター・ネットワーク化【自治体SDGs補助金充当事業】

「森林の育てびと」育成・確保対策事業

□森林の力を最大限に引き出し、多様な公益的機能の発揮を図る世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の文化的景観を構成する林業の景観を守るなど、当地域の森林が有する本来の力とその価値を、遠い未来へとつなげていくためには、当地域の伝統的な林業スタイルを大切にしながら、経済活動と森林環境の保全が両立した、効果的かつ効率的な林業経営を確立する必要がある一方で、林業現場作業員の育成・確保は喫緊の課題である。

□森林経営管理制度に基づき市が林業事業者へ委託している間伐等の森林整備に関して、指名競争入札による「通常枠」とは別に、新規雇用者に対する賃金等の直接支援ではなく、森林作業員を育てるために必要な事業量を「特別枠」として優先的に配分することで、森林整備の推進と人材育成の両立を図り、熊野の森を守る担い手を創出する。



- ☆安定した業務量を一定期間確保
- ☆積極的に雇用拡大を図る林業事業者を支援
- ☆森林整備の担い手を確保・育成



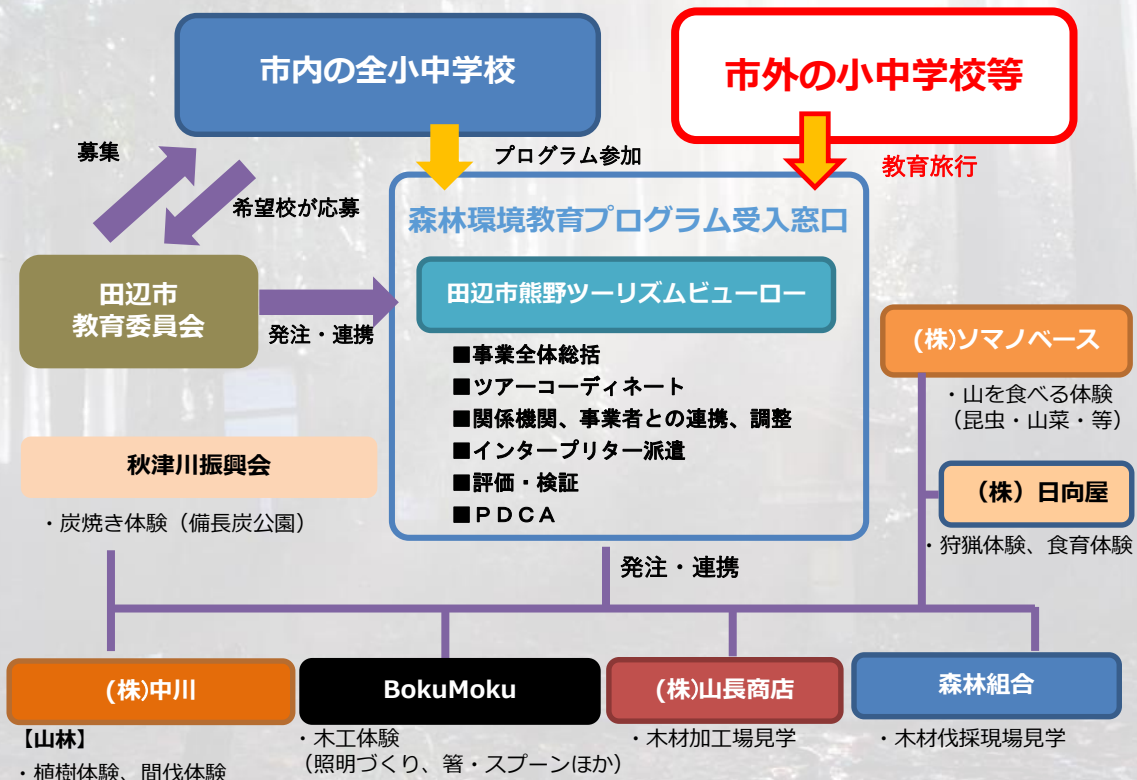
統合的取組② 地域企業と連携した持続可能な社会の創り手づくり

森林環境教育プログラム開発事業

□新学習指導要領において、持続可能な社会の創り手の育成に向けた教育の在り方を具体化させることが必要。

□従来の熊野古道の歴史や森林に関する学習に、木工体験、植林、間伐等の森林でのフィールドワークといった体験学習を組み合わせた「森林環境教育プログラム」により、地域の子供たちが熊野の森林の価値を再認識し、森林との関わりを体感し、森林環境との持続可能な共生社会をつくるために、自ら問いを立てて、その解決に向けて思考を深めることを目指すことで、持続可能な社会の創り手の育成へとつなげる。

□（一社）田辺市熊野ツーリズムビューローがワンストップの窓口となり、地域の関係企業と連携して、学校毎に最適化した教育プログラムを造成することで、全国からの教育旅行の誘致に発展させ、地域経済の活性化を図るとともに、地域外から熊野の保全に関わる将来的な関係人口の創出につなげていく。



- 【学校（校内で実施）】**
- ・樹木診断
 - ・苗木育成
 - ・事前学習講師派遣



総合的取組③ 地域にコミットするローカルイノベーターと関係人口づくり

たなべ未来創造塾

—CSV（共通価値の創造）とカッコいい大人づくり—

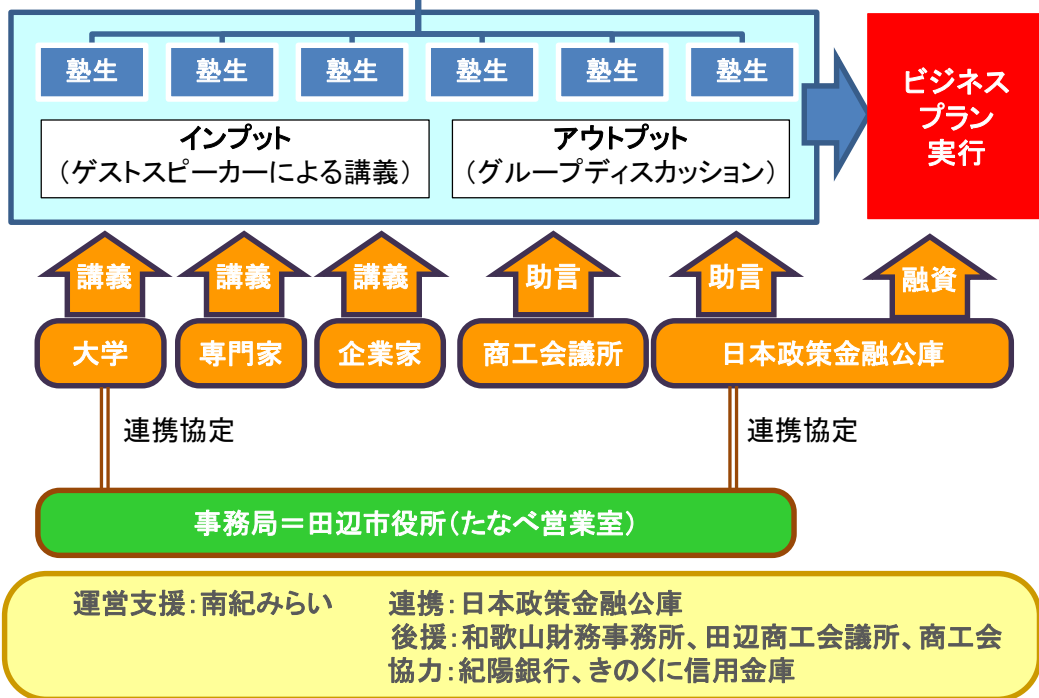
□地域の若手人材が塾生となり、CSVの視点で、地域の課題解決と企業の営利活動との共通項を探し出し、本業を生かしてできるビジネスモデルを創出する。

□「産官学金」が一体となった支援体制を構築し、塾生をサポートしながら、専門家や実践者などによる講義、塾生同士のディスカッションを通じて、深く掘り下げて考え、塾生自らが具体的なビジネスプランを考案し、実践につなげていく過程を経ながら、ビジョン構築能力、リーダーシップ、意志力、行動力等の資質の習得することで、地域の未来を担う人材を育成する。

□地域経済の活性化という側面だけでなく、地域で課題を解決しながら経済を牽引する“カッコいい大人”の活躍が、学生をはじめとしたより若い世代に勇気を与え、地元に戻ってビジネスに挑戦するという機運が高めていくことで、地域の社会的人口減少に歯止めをかける相乗効果を生み出していく。



塾長＝田辺市長

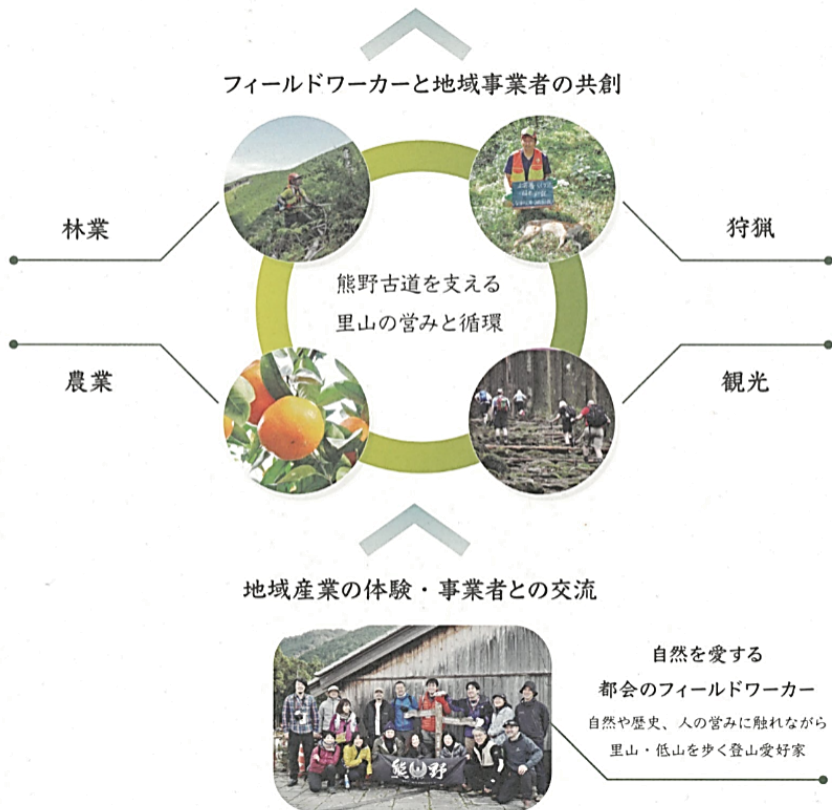


統合的取組③ 地域にコミットするローカルイノベーターと関係人口づくり

『熊野REBORN PROJECT』

『ことこらぼ』

里山の再生・熊野古道の保全



都市圏企業
社員



▶次世代リーダーの育成
▶社会課題解決と経済的価値
の両立 (CSV) を学ぶ



地域
事業者



▶ビジネス視野の拡大・人脈獲得
▶事業課題解決へのノウハウ獲得

越境学習 1
知識から実践へ

学んだ知識や仕事経験を
活用する

越境学習 2
ローカルイノベーター
とつながる

ミッション
ドリブン | 地域を巻き込み
関係構築 | 金銭以外の
価値観

経営者の姿勢を学ぶ



統合的取組③ 地域にコミットするローカルイノベーターと関係人口づくり

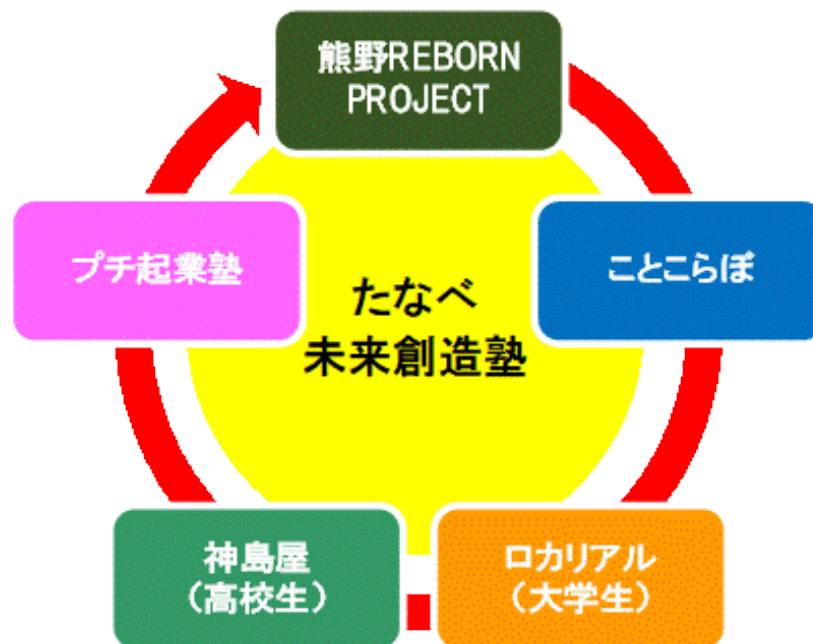
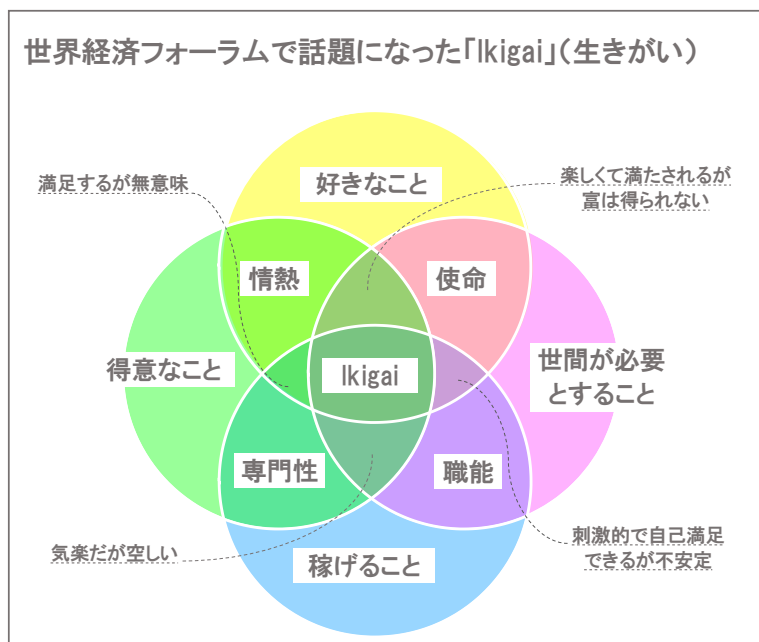
地域にコミットするローカルイノベーター・ネットワーク化事業

□「たなべ未来創造塾」では、補助金に頼らず、自らの強みを生かして、地域で稼ぐことを主眼において、ビジネスプランを生み出していることから、約7割という高い起業率を誇り、そのノウハウは国・地方問わず注目されている。

□「熊野REBORN PROJECT」や「ことらぼ」は、地域に責任を持って深くかかわることを主眼においた関係人口づくりを行っている。

□これらの人材育成事業や関係人口創出事業には、世界経済フォーラムで話題となった「Ikigai」(生きがい)の「好きなこと」、「得意なこと」、「世間が必要とすること」、「稼げること」の4要素を備えており、それぞれの修了生が生み出したビジネスを持続可能なものとする原動力となっている。

□たなべ未来塾修了生を核として、関係人口創出事業修了生だけでなく、大学生や高校生等も含めて、つながり続けることのできる仕組みを新たに構築することで、CSV(共通価値の創造)による次なるビジネスが生み出される環境を整える。



経済



取組テーマ例) 虫食い紀州ヒノキ材の価値を再創造する



有害鳥獣の駆除・活用による生活環境改善をはじめとした地域人材による社会課題の解決

地域課題を背景としたビジネスモデルの展開による地域経済の活性化

熊野の未来を拓く、ひとづくりプロジェクト

- 森を育て、森を守る担い手づくり
- 地域企業と連携した持続可能な社会の創り手づくり
- 地域にコミットするローカルイノベーターと関係人口づくり

社会



森を守る担い手の育成と森林のCO2吸収量の維持向上

耕作放棄地での森林の種苗生産をはじめとした地域人材による経済課題の解決

環境教育の普及による社会全体の環境に配慮したライフスタイルへの転換

地域人材の連携による森林資源の有効活用をはじめとした環境課題の解決

環境



1000年をつなぐ田辺市熊野SDGs

